

西洋から見た日本風景の評価

100年前までの来日旅行者の記述を調べて

社会環境システム研究領域
社会環境システム研究領域

要旨

今後100年に及ぶ日本の風景計画を立案するために、日本の優れた風景について西洋の視点から探りました。16世紀から西洋には風景画が広まり、このような素養を持った人々は、当時の日本は美しいと記述していました。中にはこのまま世界の公園として保存したらどうか、という意見を述べる人も居ました。初期には、主に旅行が許された海岸部からの眺めに関する記述ですが、江戸末期に開国されて、奥地への旅行ができるようになると、山々や渓谷、湖、田園などに日本の美しさを見出す記述が現れました。このような記述を調査することにより、日本の風景美とはどのようなものであったのかについて明らかにし、これからの日本の風景計画への提案に役立てたいと思っています。

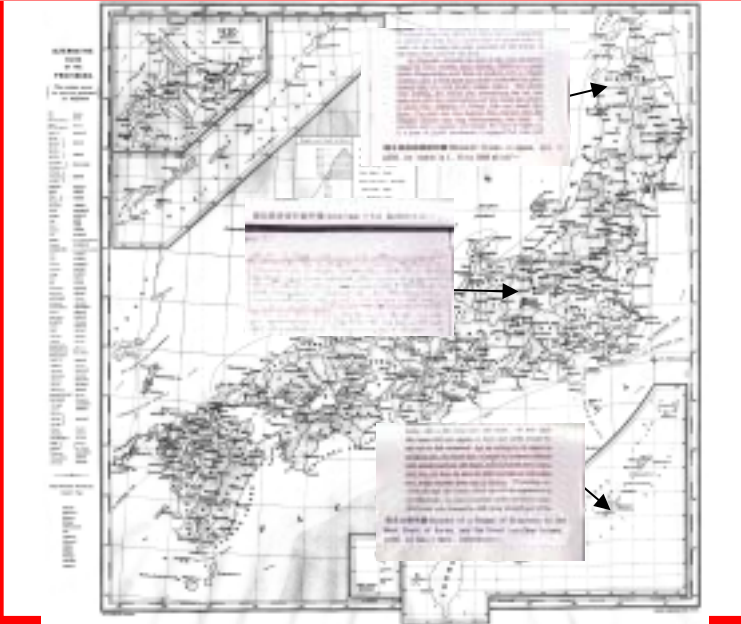
図1 西洋人の滞在年と記述の年表

Table 1 Chronological table of western visitors

| Visitor Name | Year | Country | Notes |
|-----------------------------|-----------|-------------|---|
| Francis Xaverius | 1549 | Portugal | First Western Christian missionary to arrive in Japan. He was the first to describe the Japanese landscape. |
| Abel Tasman | 1642 | Netherlands | First Western European to see Japan from the sea. He described the Japanese coastline. |
| Samuel Purchas | 1613 | England | First Englishman to describe Japan. He mentioned the Japanese landscape. |
| William Adams | 1600-1620 | England | First Englishman to visit Japan. He described the Japanese landscape. |
| Matteo Ricci | 1582-1610 | Italy | First Italian Jesuit missionary to visit Japan. He described the Japanese landscape. |
| ... (many more entries) ... | | | |

図2 旅行記の記述例

(図はHandbook for travellers in Japan, B. H. Chamberlain and W. B. Mason 1893)



まとめ

西洋の人の記述を頼りに現地を訪ね彼らの追体験をしました(図3)。奇妙な記述や誤った記述もありました。彼らは日本の風景について、どこの、どんな景色について感動したのでしょうか。彼らは恵まれた気候条件による多様な植物の繁茂、沢山の花々、美しい高木、美しい新緑、多様な紅葉美、豊かな植生、巨木の茂る森、南北の植物の並置、農村の快適な小道、手入れの良い農耕地、壮麗な針葉樹の並木、段々畑、美しい入り江、美しい山々の見晴らし(図4)、細かな地形が創り出す風景の変化など多くに感動していました。また南北の気候条件の違いや、太平洋側と日本海側の自然の違いによる風景の変化にも気づいていました。

図3 現地で記述を確認した場所と年月

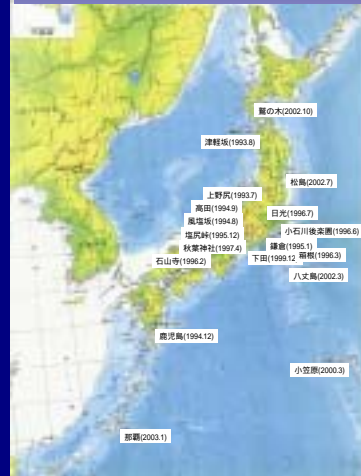


図4 アーネスト・サトウが記述した北アルプスの眺め (池田町立美術館より: 田中高光氏提供)